



# 地域と学校の連携・協働推進 ハンドブック

愛知県生涯学習審議会社会教育分科会  
愛知県社会教育委員連絡協議会

昨今、地域と学校を取り巻く課題は複雑化・多様化しており、子供たちの学びや育ちを地域全体で支えるため、地域と学校の連携・協働を一層推進することが求められています。そして、その仕組みとしての「コミュニティ・スクール」の導入、「地域学校協働本部」の整備も求められています。

平成28・29年度に愛知県生涯学習審議会社会教育分科会で「地域と学校が連携・協働した取組に関する調査」を実施し、その結果や課題、今後に向けた提言を「地域と学校の協働の推進について」として平成30年3月にまとめました。

以後、6年が経過し、県内の多くの市町村ではコミュニティ・スクールの導入が進み、地域と学校が連携・協働した様々な取組が進められるようになってきました。コミュニティ・スクールの導入に伴い、地域学校協働活動推進員・地域コーディネーターの配置や地域ボランティアの募集も進み、地域と学校の連携・協働に対する地域住民等の関心も高まっています。

こうした中、地域と学校の連携・協働に関する愛知県の現状を改めて整理するとともに、連携・協働に関わる関係者が今後の活動に向けて参考とすることができるよう、本ハンドブックを作成しました。

## 目 次

- 地域と学校の連携・協働に携わる方々の声…………… 1
- コミュニティ・スクールと地域学校協働…………… 5
  - ・ なぜ地域と学校の連携・協働が必要なの？…………… 6
  - ・ コミュニティ・スクールって何？…………… 7
  - ・ 地域学校協働活動って何？…………… 8
  - ・ 地域学校協働本部って何？…………… 10
  - ・ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進とは？………… 11
  - ・ 地域と学校が連携・協働するために…………… 12
  - ・ コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を推進するメリット………… 13
- 愛知県におけるコミュニティ・スクールと  
地域学校協働活動の実施状況…………… 14
- 地域と学校の連携・協働に関わるために…………… 17
  - ・ 地域の一員として参画しよう…………… 18
  - ・ 地域と学校の連携・協働に向けて社会教育委員に期待される役割………… 19
  - ・ 地域と学校の連携・協働に向けた学校の取組…………… 20
  - ・ もっと学びたい方へ…………… 21

# 地域と学校の連携・協働に携わる方々の声

実際に携わっている方々の思いを聞いてみましょう。



# 地域と学校の連携・協働に携わる方々の声

子供たちのため、学校のため、地域のために何かできないかと思っています。どのような方々が関わっているのでしょうか。



皆さん、どのような思いで活動されているの知りたいです。

## 学校運営協議会委員

春日井市 伊藤 隆次 氏

1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9

## 地域学校協働活動推進員

豊田市 栗本 美幸 氏

1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9

# 地域と学校の連携・協働に携わる方々の声

## 社会教育委員

豊橋市 谷中 緑 氏

1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9

## 校 長

県立足助高等学校長 上沼 善雪 氏

1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9

## 教 諭

瀬戸市立長根小学校 地域連携担当教職員  
長谷川 良 氏

1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9

# 地域と学校の連携・協働に携わる方々の声

## 社会教育士

名古屋市 大関 朋子 氏

1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9

## 地域ボランティア

尾張旭市 中道 晶乃 氏

1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9

## 学生ボランティア

半田市 阪部 加奈 氏

1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9  
④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9①1 2 3 4 5 6 7 8 9  
②1 2 3 4 5 6 7 8 9③1 2 3 4 5 6 7 8 9④1 2 3 4 5 6 7 8 9⑤1 2 3 4 5 6 7 8 9  
⑥1 2 3 4 5 6 7 8 9⑦1 2 3 4 5 6 7 8 9⑧1 2 3 4 5 6 7 8 9⑨1 2 3 4 5 6 7 8 9

# コミュニティ・スクールと 地域学校協働活動

なぜ地域と学校の連携・協働が求められているのか、「コミュニティ・スクール」や「地域学校協働活動」とは何かについて見ていきましょう。



# なぜ地域と学校の連携・協働が必要なの？

そもそも、どうして地域と学校の連携・協働が求められているのですか？



コンサルタントが答えます。時代の変化とともに地域と学校の在り方が変化し、それぞれが抱える課題を自分たちだけで解決することが難しくなっており、協力して子供たちの成長を支える動きが各地で始まっています。



## 愛知県CS・地域学校協働活動コンサルタント

愛知県が委嘱した、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動について豊かな知識や実践を有する方で、愛知県内の市町村や学校に対して指導・助言を行っています。

児童・生徒数の減少

少子高齢化の進行

保護者の学校に対するニーズの多様化

グローバル化・情報化の進展

児童・生徒指導に関わる課題の複雑化

地域社会におけるつながりの希薄化

「社会に開かれた教育課程」の実現

地域の教育力の低下

教員の働き方改革の必要性

学校を核とした地域の活性化

学校だけでは解決できない  
地域だけでは解決できない

地域と学校が力を合わせる必要があります



学校



地域

## <解説>

一つ目の理由は、**学校を取り巻く課題が非常に複雑化・困難化**しているからです。保護者が学校に求めるニーズは高く、多様化しています。そして、子供たちの中にも、いじめや不登校、発達障害、家庭の貧困等、様々な課題や困難を抱えた子がいます。教員の働き方改革の問題も指摘されています。

二つ目の理由は、「**社会に開かれた教育課程**」の実現のためです。変化の激しい社会の中でたくましく生き抜いていける子供を育てていかなければなりません。そのためには、地域と学校が目標を共有して、子供たちに身につけさせたい力や資質をはっきりとさせ、地域の人や物を積極的に活用し、教育活動を展開することが求められています。

三つ目の理由は、**地域における教育力が低下**しているからです。少子高齢化や核家族化が進み、地域のつながりが希薄化しているところが多くなっています。まちづくりの在り方や地域の未来を考えるにあたり、学校の役割、子供たちの力がとても重要になっています。

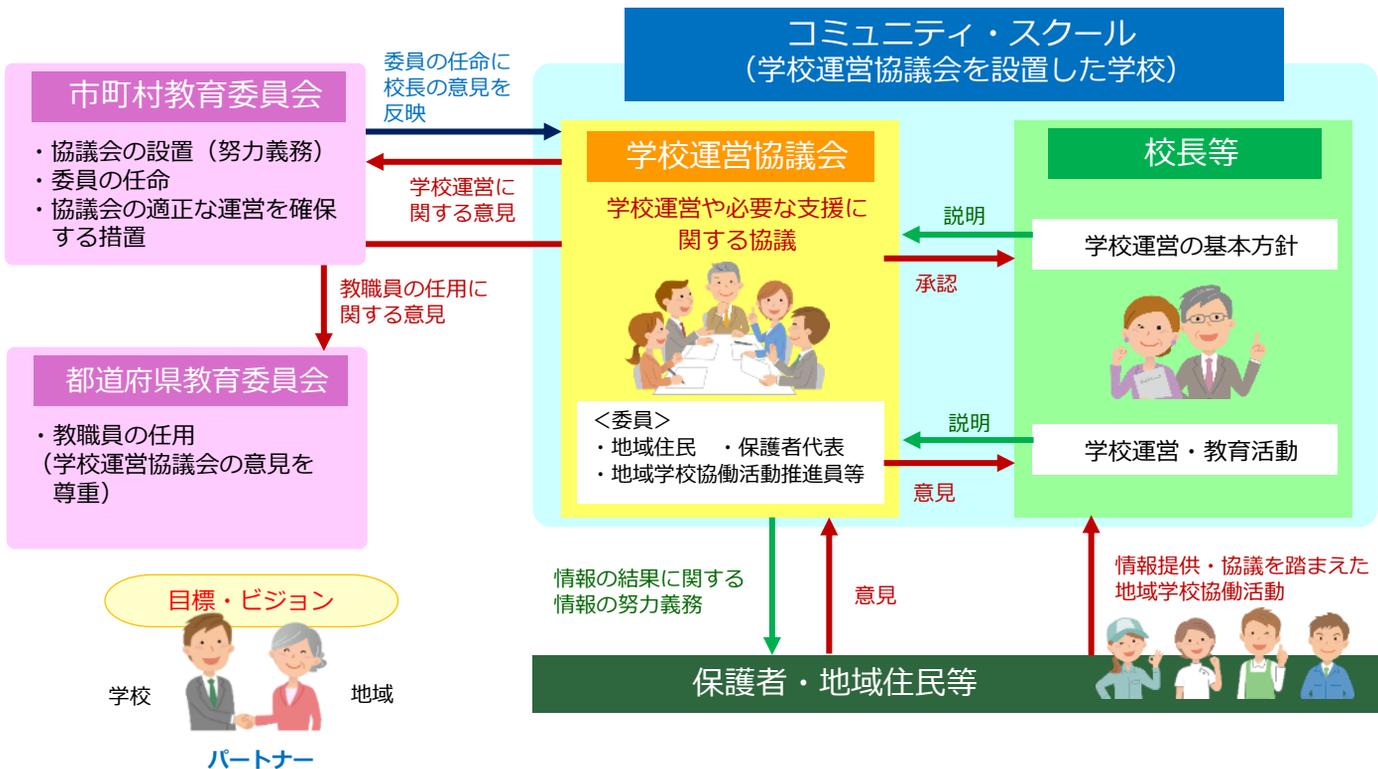
こうしたことから、地域と学校の連携・協働が求められるようになっていきます。

# コミュニティ・スクールって何？

最近、「コミュニティ・スクール」という言葉をよく聞きますが、どんなものですか？



コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のことを言います。学校と地域の連携・協働を推進するための一つの仕組みです。



## <解説>

コミュニティ・スクールとは、**学校運営協議会を設置した学校のこと**を言います。学校運営協議会では、教育委員会によって任命された委員が、学校の運営とそのために必要な支援について協議します。学校と地域はパートナーであり、「どんな子供を育てたいか」、「どんな学校にしたいか」といった目標やビジョンを共有し、学校運営を行います。

学校運営協議会には、次の三つの大きな役割があります。

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- ② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる。
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

基本方針を承認したり、人事にも意見をしたりするなど、協議会に大きな権限が与えられています。学校と協議会是对等な立場であり、互いに当事者意識をもって協働していきます。コミュニティ・スクールでは、「OKからLet's」へということがよく言われます。**単にOKするだけではなく、「Let's」＝「一緒にやろう」という姿勢が大切です。**

# 地域学校協働活動って何？

「コミュニティ・スクール」とともに「地域学校協働活動」という言葉もよく聞きますが、どんなものですか？



地域学校協働活動とは、学校と地域が目標を共有し、地域全体で子供たちの学びや成長を支えたり、「学校を核とした地域づくり」を目指して行ったりする様々な活動です。

## <解説>

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

地域学校協働活動は、単なる一方向的な学校支援ではありません。**学校と地域が目標やビジョンを共有して行う、双方向の活動**です。学校が地域を支援する、子供たちが地域の中で力を発揮する活動をとおして、育てたい子供像に迫っていくという視点も大切です。

地域学校協働活動には、これをしなければならないといったものではありません。各学校や地域で、それぞれの特色や課題に応じた様々な活動が行われています。

<b>地域課題解決型学習・郷土学習</b>	<b>「放課後子ども教室」</b>	<b>「地域未来塾」</b>
地域の方から地域について学び、地域の魅力を伝えたり、活性化の方策を考え実行したりする学習活動	地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動	全ての生徒を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援
<b>家庭教育支援活動</b>	<b>学校に対する多様な協力活動</b>	<b>地域行事やボランティア活動への参画</b>
寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくり等	登下校の見守り、学校及び周辺環境の整備、読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援等	地域イベントにおけるボランティア、祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画等

ミシンの学習支援や調理実習の補助、生活科の校外学習の引率補助、小学1年生の給食時の配膳支援、野菜の栽培指導、校庭の草刈り等、私の子供の学校でも「地域学校協働活動」が行われているのですね。



## 愛知県内の取組事例

### 地元と連携した探究学習（県立足助高等学校）

観光ビジネスコースでは、地域の観光資源を生かし、地域課題の解決と地域の活性化に向けて探究活動を進めています。観光庁、青年会議所、豊田市役所足助支所等の方から指導・助言をいただいたり、企業からの支援を受けたりして、「まちやどスクール」で着物カフェを開催



したり、鹿肉カレーの開発・販売に取り組んだりしました。地域の方の協力により、体験的な学びが充実しています。

### プリントの丸付け「ねこ丸隊」（瀬戸市）

長根小学校では、始業前の10分間、漢字や算数のプリントに子供たちが取り組み、その丸付けを「ねこ丸隊」と名付けた地域の方々が行っています。週一回行われる「ねこ丸隊」の日になると、待ちわびた子供たちは、「ねこ丸隊が来る！」と笑顔で地域の方を迎えています。地



域の方に丸をつけてもらい、褒めてもらうことは、子供たちの喜びと学習意欲につながっています。

### コミュニティークラブ（東浦町）

緒川小学校では、「おがわっ子ENJOYクラブ」として4年生から6年生を対象に年7回実施しています。放課後の子供たちの居場所として学校運営協議会主体で実施しています。地域の方を講師とした講座を開催し、剣道や少林寺拳法、編み物等の体験活動に取り組んでいます。



子供たちにとって地域の方々とふれあえる楽しい時間となっており、地域の方にとってもやりがいにつながっています。

### ドリームの会（田原市）

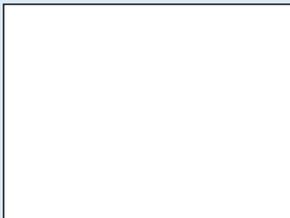
「ドリームの会」は、田原市立福江中学校の生徒でつくられているボランティアクラブです。100名程が在籍し、地域からの要望に応じて休日にボランティア活動を行っています。海岸清掃、福祉施設での手伝い、校区の清掃活動、ミニコンサートの運営補助等、活動内容は多岐に



わたっています。ボランティアの心を育てるとともに、子供たちが地域の方々との交流を深めるよい機会にもなっています。

### ほてっこルーム（江南市）

布袋小学校では、教室になかなか入れない、他の児童と一緒に活動することが難しい子供への支援の在り方について学校運営協議会で協議し、校内サポートルーム「ほてっこルーム」を設けました。いつでも気軽に利用できる温かい居場所づくりを目指し、心の相談員とともに、



地域ボランティア「ほてサポ」の方々も支援に加わっています。地域の方の温かな支えが子供の安心感につながっています。

### みやっ子サロン（半田市）

宮池小学校では、地域ボランティア「宮池小応援団」に設けられた「子ども食堂部会」が中心となって、毎月第4土曜日に「みやっ子サロン」を開催しています。地域の方々や大学生が運営し、子供たちに食事や工作、学習の場を提供しています。一緒に流しそうめん等をいただ



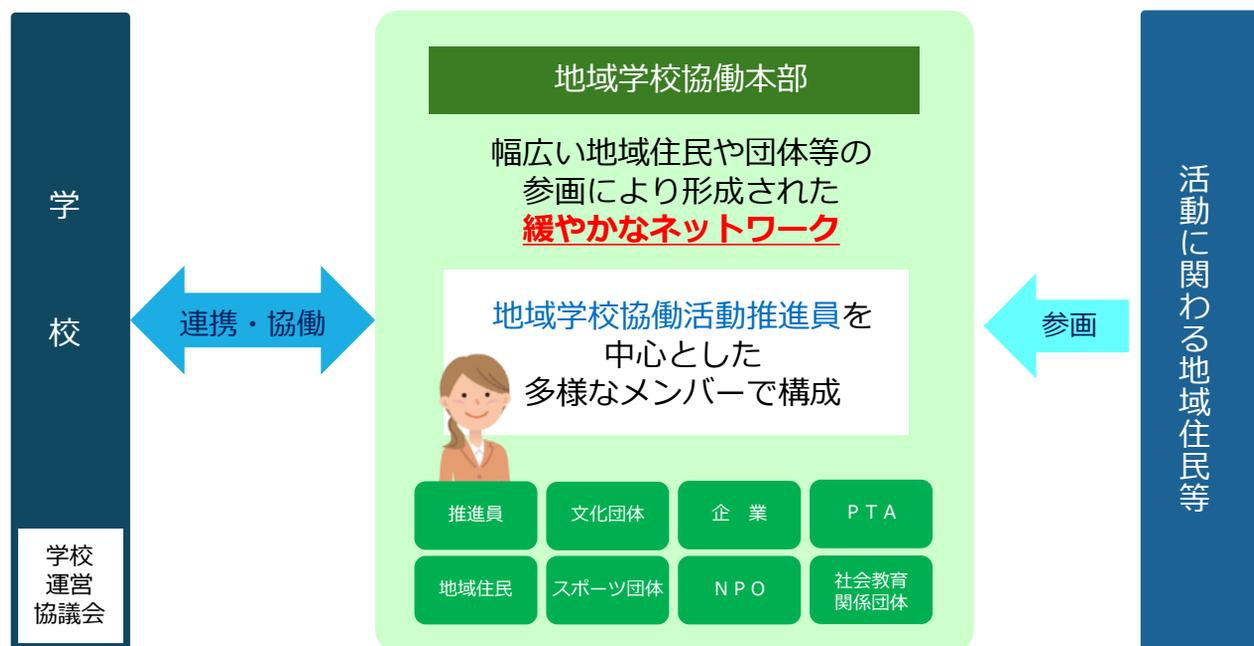
いたり、「くるくる」や「レーシングカー」等の工作に取り組んだりして、子供たちが地域の方々と交流を深める機会となっています。

# 地域学校協働本部って何？

「地域学校協働活動」のことは分かったけれど、「地域学校協働本部」とは違うのですか？



「地域学校協働本部」とは、幅広い地域住民や団体等によってつくられるネットワークのことです。地域学校協働活動推進員を中心とした多様なメンバーで構成し、「地域学校協働活動」を進めます。



\* 複数の学校を対象として一つの本部を設置している市町村もあります。

\* 地域によって名称も様々です。

「〇〇小応援団」「□□中サポーターズ」「△△小サポートステーション」等

## <解説>

地域学校協働活動の推進にあたっては、「地域学校協働本部」を整備することが有効です。この「地域学校協働本部」は、学校と地域が連携・協働して行う様々な活動を実践する組織あるいは推進する体制と言えます。

本部の構成員としては、以下の方々が想定されますが、地域によって様々です。

- 地域学校協働活動推進員・PTA 役員
- 公民館長・自治会・商工会議所・青年団
- 婦人会・農業委員・民生委員
- 社会福祉協議会・まちづくり協議会
- 放課後児童クラブ担当者・大学等有識者
- NPO代表 等



# コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進とは？

地域学校協働活動推進員がどのような役割を果たすと、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な推進が図られるのでしょうか？



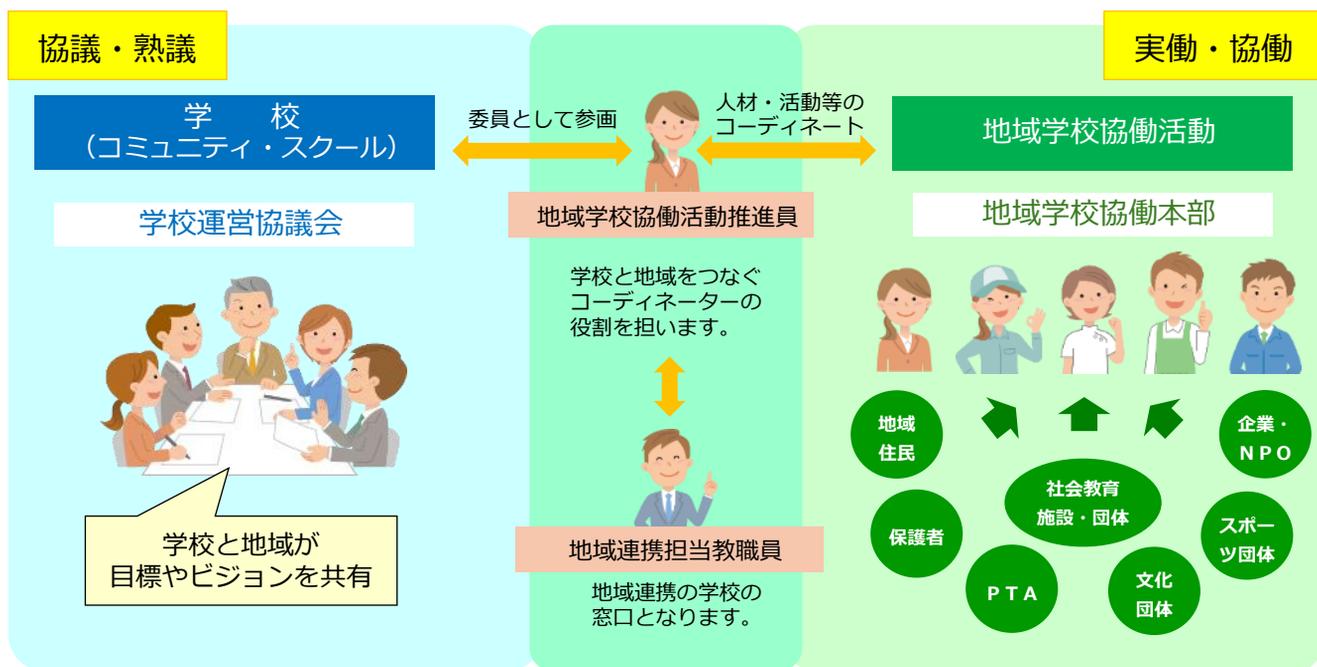
地域学校協働活動推進員が学校運営協議会の委員となり、地域と学校をつなぎながら、それぞれの考えを橋渡しすることで、地域の皆さんと学校が一体的に地域学校協働活動を実行できると思います。



地域学校協働活動推進員

「地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）」は、地域住民等と学校との連絡調整等を行うコーディネーターで、以下の役割を担います。

- 地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案
- 学校や地域住民、企業・団体等の関係者との連絡・調整
- 地域ボランティアの募集・確保 等



## <解説>

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することで、これまでそれぞれで活動していた地域・団体等が「緩やかなネットワーク」を形成することができます。また、共通の目標や課題のもとで、一緒に連携して活動を進めることができます。さらには、コミュニティ・スクールが、学校と地域、あるいは地域そのもののつながりを強化するとともに、地域学校協働活動がコミュニティ・スクールの目標に向けた活動の具現化につながります。

# 地域と学校が連携・協働するために

地域と学校が同じ方向を向いて連携・協働するためにはどうすればよいですか？



地域や学校が抱える課題、目標やビジョンを共有することが一番大切です。そのために「熟議」に取り組みます。

## 熟議

多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のことで、活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができます。

### <熟議のテーマ(例)>

- ・どんな子供に育ててほしいか
- ・地域と学校が一緒になってできることは
- ・地域の力を子供たちの教育にどう生かすか
- ・下校時の安全をどう確保するか
- ・子供たちの学力を向上させるためには
- ・郷土学習で子供たちに何を伝えるか 等



### 進め方の例

- ① 熟議の目的等を確認する。
- ② テーマについての知識・背景を共有する。
- ③ 自己紹介をする。
- ④ 付箋を使って意見をたくさん出す。
- ⑤ 出された意見について方向性をもって話し合う。
- ⑥ グループでの話し合いを全体で発表する。

【地域コーディネーター等研修会 熟議の演習より】

### <解説>

地域と学校が同じ方向を向いて、連携・協働を進めるためには、子供たちや地域・学校が抱える課題とともに、「どのような子供を育てたいのか」、「どんな学校や地域にしていきたいのか」という**目標・ビジョンを共有**することが大切です。そのために「熟議」に取り組みます。保護者の方、地域の方、学校の教職員が膝をつき合わせて議論することにより、互いの立場や役割への理解が深まり、今後の方針や取組を決めていくたくさんのヒントが得られます。

# コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を推進するメリット

「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」を進めるとどんなよいことがあるのですか？



子供たち、保護者の方、先生たち、地域の方、それぞれにメリットがあります。一例を挙げると次のとおりです。

- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。

子供



- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

保護者



教職員



- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 授業等への地域の支援により、子供と向き合う時間の確保につながります。

地域



- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 地域のネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。

# 愛知県におけるコミュニティ・ スクールと地域学校協働活動の 実施状況

愛知県でコミュニティ・スクールの導入や地域学校協働本部の整備がどれぐらい進んでいるか見てみましょう。



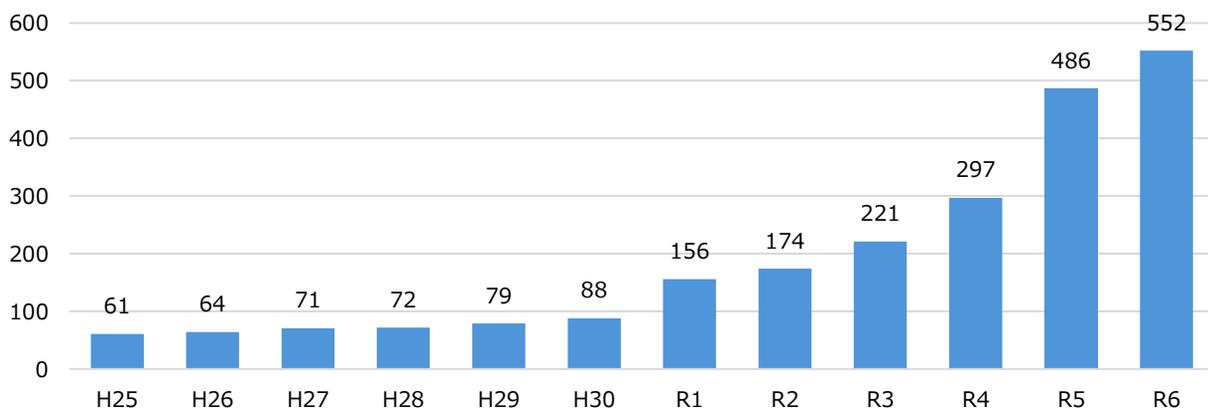
# 愛知県におけるコミュニティ・スクール、地域学校協働活動の現状は？

「コミュニティ・スクール」や「地域学校協働活動」の大切さがよく分かりました。愛知県ではどれくらい進んでいますか？

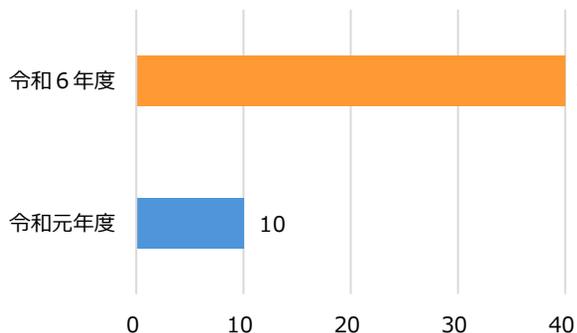


文部科学省が毎年実施している「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動設置状況調査」【公立学校】では、次のような結果が出ています。（各年5月1日現在）

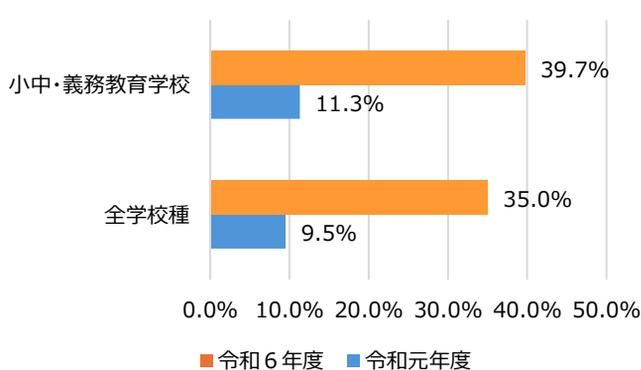
## 1 愛知県におけるコミュニティ・スクールの導入校数の推移（全学校種）



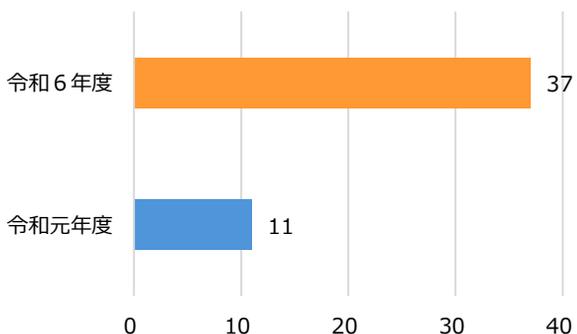
## 2 コミュニティ・スクール導入市町村数



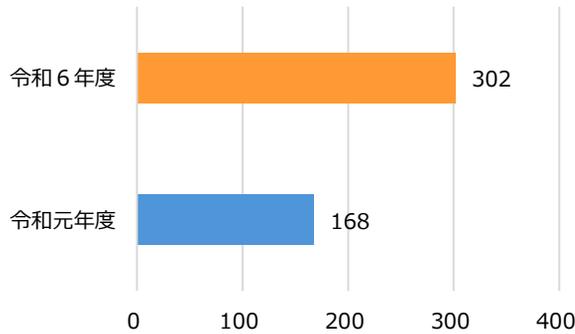
## 3 コミュニティ・スクールの導入率



## 4 地域学校協働本部整備市町村数

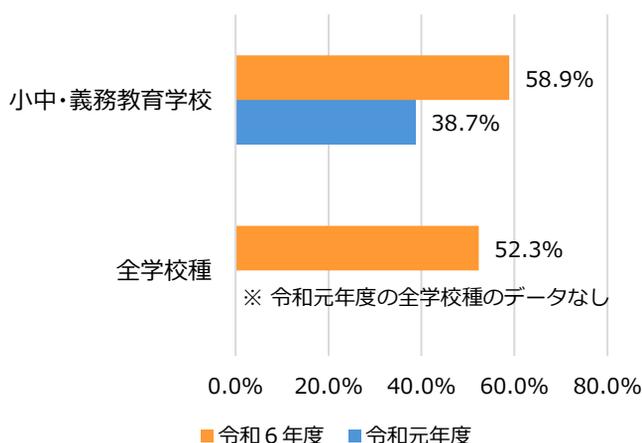


## 5 地域学校協働本部数



# 愛知県におけるコミュニティ・スクール、地域学校協働活動の現状は？

## 6 地域学校協働本部のカバー率（小・中・義務教育学校）

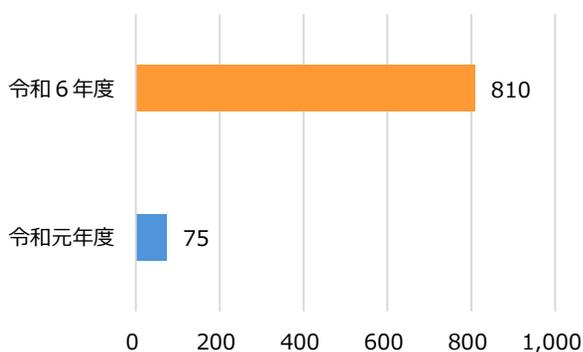


この5年間でコミュニティ・スクールの導入や地域学校協働本部の整備がずいぶん進んでいますね。



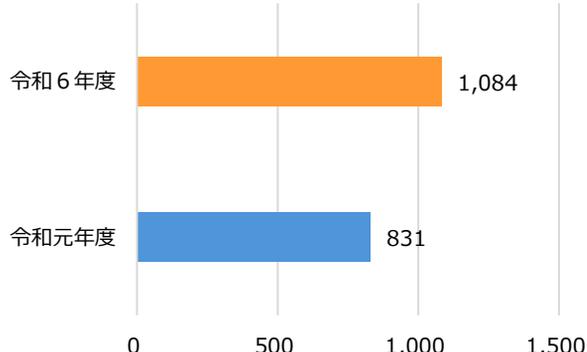
## 7 地域学校協働活動推進員の配置数

（統括的な地域学校協働活動推進員を含む）



## 8 地域コーディネーターの配置数

（統括コーディネーターを含む）



## 9 地域と学校の連携・協働を進めるにあたっての市町村の課題

令和6年度「学校と地域の連携・協働に関する調査（市町村用）」より

- 地域学校協働活動の予算や地域学校協働活動推進員の報酬の増額
- 地域人材の不足（ボランティア、学校運営協議会の委員、地域学校協働本部長、地域学校協働活動推進員）
- コミュニティ・スクールや地域学校協働活動について地域住民に趣旨がまだ浸透していない。
- ボランティアの高齢化、新たなボランティアの発掘と育成
- 地域ボランティアの拡大。現在はPTAボランティアの方が多いのが現状である。
- 学校運営協議会と地域学校協働活動が連動していない。学校運営協議会委員に「学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進」について理解を深めてもらう必要がある。
- 学校側に地域と学校の連携・協働による具体的な業務改善のメリット・デメリットが十分に伝えることができていない。
- 教職員の理解と意識改革
- 人口が少ないため、地域の方はすでに地域の役を掛け持ちしている状態。そのような中でコーディネーター、ボランティアを無償に近い条件で依頼するのは困難。
- 推進員がボランティア団体の代表のようになっているケースが多く、地域と学校の協働を推進するところまで手が回っていない。また、推進員という役割の理解が低い。
- 地域（特に青壮年層）と学校の双方に連携のための時間的余裕が不足し、十分な課題の洗い出しができていない学校が多い。
- 活動内容によっては教員の休日出勤・時間外勤務が発生し、教員の負担が増えることもある。
- セキュリティの問題もあり、地域学校協働本部の活動場所が学校の中に設置されていない。

## 地域と学校の連携・協働に関わるために

これから地域と学校の連携・協働にどのように関わっていくことができるか考えてみましょう。



# 地域の一員として参画しよう

地域と学校の連携・協働に向けて、地域の一員としてできることは何でしょうか？



そのように考える方が増えていけば、大きな力となります。「できる人が、できるときに、できることに取り組む」ということが大切ですね。まずは、地域や学校のことを知るところから始めてみませんか。

## 1 地域や学校のことをもっと知ろう

自身の住む地域や近くの学校で、今、どのような取組が行われているか調べてみましょう。コミュニティ・スクールがまだ導入されていない市町村もありますが、学習支援等の活動は多くの学校で行われています。学校だよりが回覧板で回覧される地区もありますし、学校のホームページでは学校の様子や子供たちの様子が随時配信されています。学習支援等のボランティアを募集している学校もありますし、市町村で登録制度を設けているところもあります。まずは、地域や学校の様子を調べるところから始めてみてください。

## 2 CSや地域学校協働活動のことをもっと学ぼう

本ハンドブックは、地域と学校の連携・協働について基礎・基本的なことをまとめています。もっと知っていただくために、県や市町村が開催する研修会等にぜひ参加してみてください。県では毎年、学校の先生方、地域学校協働活動推進員、地域の方々等を対象として「地域コーディネーター等研修会」を開催しています。コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に関わる様々な事例に触れたり、他の参加者と交流したりすることによって、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動についての理解が深まり、自身の関わり方が見えてくると思います。

## 3 地域や学校の活動に参加しよう

地域ボランティアの一人として、地域や学校の行事等にぜひ参加してみてください。授業の支援や登下校時の見守り、学校の環境整備、放課後や休日の学び・体験活動の講師等、参加には様々な形があります。自身の特技や趣味を生かす場もきっとあると思います。子供たちの笑顔や成長を間近で感じることは、きっと自身のやりがいにつながります。できるときに、できる形で、子供たちや学校、地域に関わってみてください。

# 地域の学校の連携・協働に向けて社会教育委員に期待される役割

私は市の社会教育委員を務めていますが、地域と学校の連携・協働に向けて、社会教育委員にはどんなことができますか？



できることは、その人やその人の住む地域によっても様々です。以下のことを参考に、自分にできそうなことを考えてみてください。

## 1 調査研究を行う

お住まいの自治体における地域と学校の連携・協働の状況を調査し、今後の在り方について考え、市町村教育委員会に提言します。社会教育委員の皆様が教育委員会に働きかけることで、地域と学校の連携・協働が一層推進されます。

## 2 学ぶ

研修等に積極的に参加し、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動のよさや魅力、地域と学校の連携・協働の大切さ等を正しく理解します。自らの学びが、その後の具体的な行動の礎となります。

## 3 広める

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動のよさや魅力を自らの言葉で地域住民に語り、広めます。社会教育委員の皆様の言葉がけで、地域と学校の連携・協働の機運が高まります。

## 4 つなげる

自身が学んだり体感したりした地域と学校の連携・協働のよさや魅力を語る中で、地域の方をボランティアの仲間へ誘い、喜びや楽しさ、醍醐味を共有します。そうすることで、子供たちを支える輪が広がっていきます。

## 5 参画する①

学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員、地域コーディネーターとして、学校運営に直接携わります。社会教育委員の方が学校づくりに直接関わってくださることは、学校にとって大きな安心につながります。

## 6 参画する②

地域ボランティアの一人として、授業の支援や登下校時の見守り、放課後や休日の学び・体験活動の講師等、できる時にできる形で子供たちや学校に関わります。社会教育委員の方の積極的な姿勢が、地域の方々の参画にもつながります。

# 地域と学校の連携・協働に向けた学校の取組

地域と学校の連携・協働に向けて、学校はどんなことに取り組むとよいですか？



コミュニティ・スクールや地域学校協働活動は管理職の先生方だけで進めるものではありません。以下のことを参考に、全教職員の共通理解のもとで、取組を進めてください。

## 1 校内での取組

- 目標やビジョン、課題の共有
- 地域連携担当教職員の配置
- 校務分掌との関連づけ
- 年間計画の作成
- 研修の実施、導入の意義・目的の周知
- 部会の組織
- 地域と関わる教育活動の整理・検討
- 「コミュニティ・ルーム」の設置 等

全教職員がコミュニティ・スクールや地域学校協働活動の意義や目的を知り、校内で目標やビジョン、課題を共有することが大切です。その上で、教務主任などを中心に地域と関わる教育活動を整理・検討し、年間計画を作成していきます。地域連携における学校の窓口となる「地域連携担当教職員」を配置したり、地域学校協働活動推進員や地域の方々が気軽に来校して活動できるようにするための「コミュニティ・ルーム」のような部屋を確保したりすることも大切なことです。

## 2 保護者・地域への取組

- 導入の意義・目的の周知
- 参加・協力依頼
- 学校運営協議会委員の選定
- ボランティアの活用 等
- PTA活動との関連づけ
- 地域学校協働本部との連携
- 地域学校協働活動推進員の選定

学校は保護者や地域に対しても意義や目的をしっかりと伝え、参加を呼びかけていきます。地域の協力を得るためには管理職の役割はとても重要です。校長は明確なビジョンをもち、それを自身の言葉で保護者や地域の方、教職員に語っていきます。その思いやリーダーシップに触れたとき、多くの賛同が得られることでしょう。教頭は校長を補佐しながら、職員間、地域間の調整を図ります。

学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員の人選、地域の方々の参画にあたっては、日頃からの地域との関係づくりが重要になってきます。学校をよく知ってもらえるよう情報発信を積極的に行うとともに、学校行事等に気軽に来校していただけるよう呼びかけることが大切です。

# もっと学びたい方へ

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動についてもっと学びたいと思います。参考資料として何を見るとよいですか？



以下のサイトを参考にしてください。



## ■ あいちの社会教育

【愛知県教育委員会あいちの学び推進課HP】

<https://www.pref.aichi.jp/site/social-education/>



## ■ コミュニティ・スクール、地域学校協働活動リーフレット

【愛知県教育委員会】

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/514004.pdf>



## ■ eラーニング教材「学校と地域の連携・協働に向けて」

【愛知県教育委員会】

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/514004.pdf>



## ■ 学校と地域でつくる学びの未来

【文部科学省HP】

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/index.html>



## ■ コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

【文部科学省HP】

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/community/](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/)



## ■ コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議 最終まとめ

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/163/toushin/mext\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/163/toushin/mext_00001.html)



## ■ NITS独立行政法人教職員支援機構 研修動画

<https://www.youtube.com/@NITSONlineCH/featured>



## **地域と学校の連携・協働推進ハンドブック**

2025（令和7年）3月発行

愛知県教育委員会生涯学習審議会社会教育分科会  
愛知県社会教育委員連絡協議会

〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電 話：052-954-6780（ダイヤルイン）

メール：aichi-manabi@pref.aichi.lg.jp